

### 議長通信



松山 力弥 議長

#### 一般質問の見直し

一般質問は、議員が、町の一般事務に対してその執行の状況または将来の方針、政策的提言や行政の課題などを町長などの執行機関に直接質すことです。政策・制度に内包されている問題点についての争点を発見し、

議論によってそれを「よい」状態にすることにあります。全国町村議会議長会より発行された「議員必携」という書籍には、議員にとって最もはなやかで意義ある発言の場と記されています。当議会では、この一般質問を「一括質問一括答弁方式」で長年行ってきましたが、住民の皆様目の線に立ち、質問と答弁が一体となり、よりわかりやすくとされる「一問一答方式」に変更いたしました。同時に一般質問の「質」の向上が必要となる方式です。今回の12月定例会で、初めてこの「一問一答方式」で行いましたが、課題もいくつか見えて

きました。各議員が、しっかりとしたデータや証言を調べて分析し、その事実から言えることを主張することが重要です。一般質問がよくなれば、議会もより良い方向へと向かっていくに違いありません。ぜひ、新しい方式での一般質問を、議場にて傍聴またはインターネットからのライブ配信をご覧ください。

### すえち未来ちび



作・田原ウーコ  
1979年須恵町生まれ、イラストレーターとして福岡を中心に九州・東京の広告やエディトリアルにて活動中。 <https://polyworks.jp>

ご来庁の際はご注意ください！

### 庁舎エレベーターの改修工事が行われます

【工事期間】令和6年2月16日～3月中旬（予定）

次回の定例会は、3月1日からの予定となっています。工事期間中は、エレベーターの利用ができませんので、ご注意ください。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。  
※本会議当日は、インターネットにてライブ配信も行っていますので、ぜひご覧ください。

#### 本会議傍聴のご案内

本会議は一般に公開されており、簡単な手続きで傍聴することができます。傍聴を希望される人は、本会議当日に役場4階議事事務局の窓口にお越しください。（予約不要）

議会を生でみてみよう！

次の定例会は3月1日からの予定です。

#### 本会議を！ホームページで公開しています！

映像配信

会議録

## 新任議員管外視察研修レポート

須恵町議会では、新任議員が議会活動を進めるうえで、期待される役割を十分に果たすために必要な知識を身につけることを目的として、新任議員管外視察研修を実施しています。

- 令和5年10月30日～11月1日
- 全国市町村国際文化研修所（滋賀県）市町村議会議員特別セミナーを受講
  - 国会議事堂（東京都）を視察

### 議員に求められる役割



川原 幸治 議員

市町村議会議員特別セミナーに参加し、4名の講師による講演を聴かせてもらいました。特に考えさせられたのは、「議員に求められる役割」という内容です。『開かれた議会は正しい考え方ではあるが、ただ扉を開いても誰も入って来ない。議員が想像しているよりも町民は議会を知ることができず理解できていない。そのため議員の役割として、町民が参加で

きる議会との討論の場をつくるなど、議会を知ってもらう努力をすることで町政への関心も強くなり、地域の情報も幅広く獲得できます。質問・質疑も町の発展のため説得力のある内容になっていく』とのことでした。講演内容をしっかりと念頭に置き、安全安心に暮らせる町づくりに貢献できるよう日々臨んでまいります。

### より一層精進



平山 諭 議員

全国市町村国際文化研修所で、2日間にわたり講義を受けました。その中で印象に残ったのが、「今こそコロナ期の振り返り」という事です。記憶が明確なうちに次への「備え」が必要であり、そうする事で、今後も起こり得るパンデミックや自然災害におけるリスクの予測と対策が町民を守ることに繋がると強く感じました。

3日目は国会議事堂で参議院予算委員会の質疑の様子を傍聴いたしました。議事堂内の格式ある雰囲気や、閣僚や議員の方々の真剣な姿勢に触れる貴重な機会となりました。今回の3日間で学んだ多くの事をしっかり活かし、一步一步成長していけるよう、より一層精進して参りたいと思います。

## 林活研修レポート

「森林・林業・林産業活性化九州大会」に参加しました。

令和5年10月31日（火）熊本城ホールにおいて開催された表題の大会に、須恵町議会からも10名が参加しました。大会は、開会行事の後、基調講演、事例発表、大会決議を採択して閉会との運びでした。決議を要約すると、「森林は、木材の供給のみならず、国土の保全、水源の涵養、地球温暖化の防止、生物多様性の保全等の多面的な機能の発揮を通じて、我々の日常生活にさまざまな恵みをもたらしている。森林資源の活用、木材利用の促

進や新たな分野での木材利用を進める必要がある。自然災害の激甚化・頻発化する中で森林の整備・保全はもとより、流域治水の取り組みと連携した山地災害の防止、被災地の早期復旧、そして防災減災対策や災害に強い健全な森林整備を行う必要がある。森林・林業・林産業およびこれを担う山村地域の活性化に向けた取組みを一層強化するため、『森林・林業・林産業活性化九州大会』を開催し、6つの事業を推進していくことを決議する。」というものです。

基調講演は、武蔵野美術大学教授の若杉浩一氏。事例発表は、地元企業の川原剛氏。それぞれ貴重なお話でした。須恵町の森林は、産業としての活用よりも、防災目的の治山治水を第一に施策されています。それとともに、多角的な役割を持つ森林を大切にしていくことは重要です。議会としても、森林の可能性について学び、活かしていきたいとの思いです。